



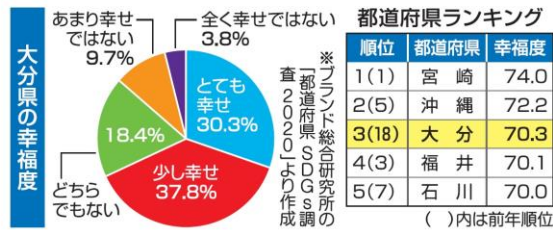
東京の民間調査会社が実施した都道府県別の幸福度ランキングで、大分県は100点満点中70・3点と昨年の18位から3位にランクアップした。同社は「個人の悩みを抱える人の割合が少なく、環境や社会の持続に関する意識の高さが表れた」と分析している。

大分県人 幸福度3位

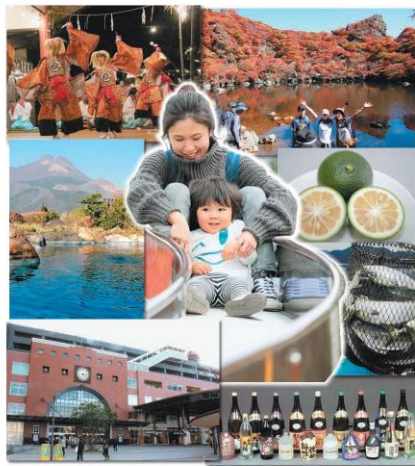
民間調査「環境・社会への意識高い」

東京の民間調査会社が実施した都道府県別の幸福度ランキングで、大分県は100点満点中70.3点と昨年の18位から3位にランクアップしました。

大分は344人が回答した。「とても幸せ」「少し幸せ」と感じている人は計68・1%。年代別では60代以上(81・1%)と20代以下(71・3%)が高い半面、40代(55・6%)など働き盛りの世代が低くなる傾向が出た。



個人の悩みに関する設問で「孤独」は40位、「就職難」は41位、「働きがいが無い」は44位。環境や社会の持続に関する行動の設問については「教育への支援・協力」が1位、「ソーシャルディスタンス」が4位、「ごみの分別」が5位といずれも上位だった。



幸福度が全国3位となった大分県。自然や文化、食など多彩な魅力がある(コラーージュ)

生活満足度の12位に対して幸福度が3位と上回り、環境や社会への意識が高かった。同研究所は「実生活よりも精神的に満たされている傾向の表れで、家庭内や人間関係に悩みが少ない地域に見られる特徴。社会や環境をより良くしようとする意識の高さが個人の幸福に還元されているのではないかと指摘している。」(中村みえ)

① 大分県が3位にランクアップした理由について、調査会社は何と分析していますか？

「個人の悩みを抱える人の割合が少なく、環境や社会の持続に関する意識の高さが表れた」と分析している。

② 「とても幸せ」「少し幸せ」と答えた人の割合は何%でしたか？また、年代別の特徴はどのようなものでしたか？

68.1%。60代以上と20代以下が高い半面、40代など働き盛りの世代が低くなる傾向が出た。

③ 地方ならではのマイナス面としてどのようなことが浮き彫りになりましたか？

労働力人口の減少を背景に「時間外労働・休日出勤・過労働」が2位と高く、「人手不足・後継者不足」も9位で、経営・雇用分野で悩む人の割合が高かった。

④ 大分県は生活満足度の12位に対して幸福度が3位と上回り、環境や社会への意識が高かったことについて、調査会社は何と指摘していますか？

「実生活よりも精神的に満たされている傾向の表れで、家庭内や人間関係に悩みが少ない地域に見られる特徴。社会や環境をより良くしようとする意識の高さが個人の幸福に還元されているのではないかと指摘している。」